

議提議案第 1 号

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正することについて

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和 8 年 3 月 2 6 日提出

提出者	秦野市議会議員	横 山	むらさき
同	同	八 尋	伸 二
同	同	小 菅	基 司
同	同	古 木	勝 久
同	同	今 井	実

提案理由

秦野市特別職職員の旅費制度の改正を踏まえ、市議会議員の旅費制度を見直すため、改正するものであります。

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
の一部を改正する条例

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（昭和31年秦野市条例第29号）の一部を次のように改正する。

第5条第2項中「別表のとおりとする」を「一般職の職員に支給する旅費の例による」に改め、同条第3項を削る。

別表を削る。

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。

議提議案第 号 秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案新旧対照表

新	旧																																									
<p>(費用弁償)</p> <p>第5条 議長、副議長及び議員が公務のため市外に出張したときは、その出張について費用弁償として旅費を支給する。</p> <p>2 前項の規定により支給する旅費の額は、<u>一般職の職員に支給する旅費の例による。</u></p>	<p>(費用弁償)</p> <p>第5条 議長、副議長及び議員が公務のため市外に出張したときは、その出張について費用弁償として旅費を支給する。</p> <p>2 前項の規定により支給する旅費の額は、<u>別表のとおりとする。</u></p> <p>3 <u>前項に定めるもののほか、議長、副議長及び議員に支給する旅費については、一般職の職員に支給する旅費の例による。</u></p> <p><u>別表（第5条関係）</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><u>鉄道賃</u></th> <th style="text-align: center;"><u>船賃</u></th> <th style="text-align: center;"><u>航空賃</u></th> <th style="text-align: center;"><u>車賃</u></th> <th style="text-align: center;"><u>宿泊料</u> <u>(1泊につき)</u></th> <th style="text-align: center;"><u>食卓料</u> <u>(1泊につき)</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><u>運賃の等級が区分されている場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>運賃の等級が区分されている場合</u></td> <td style="text-align: center;"><u>実費</u></td> <td style="text-align: center;"><u>実費</u></td> <td style="text-align: center;"><u>13,000円</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1,800円</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>1等の運賃、</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1等の運賃、</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>運賃の等級を設けない</u></td> <td style="text-align: center;"><u>運賃の等級を設けない</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>線路で特別</u></td> <td style="text-align: center;"><u>船舶で特別</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>車両料金を</u></td> <td style="text-align: center;"><u>船室料金を</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						<u>鉄道賃</u>	<u>船賃</u>	<u>航空賃</u>	<u>車賃</u>	<u>宿泊料</u> <u>(1泊につき)</u>	<u>食卓料</u> <u>(1泊につき)</u>	<u>運賃の等級が区分されている場合</u>	<u>運賃の等級が区分されている場合</u>	<u>実費</u>	<u>実費</u>	<u>13,000円</u>	<u>1,800円</u>	<u>1等の運賃、</u>	<u>1等の運賃、</u>					<u>運賃の等級を設けない</u>	<u>運賃の等級を設けない</u>					<u>線路で特別</u>	<u>船舶で特別</u>					<u>車両料金を</u>	<u>船室料金を</u>				
<u>鉄道賃</u>	<u>船賃</u>	<u>航空賃</u>	<u>車賃</u>	<u>宿泊料</u> <u>(1泊につき)</u>	<u>食卓料</u> <u>(1泊につき)</u>																																					
<u>運賃の等級が区分されている場合</u>	<u>運賃の等級が区分されている場合</u>	<u>実費</u>	<u>実費</u>	<u>13,000円</u>	<u>1,800円</u>																																					
<u>1等の運賃、</u>	<u>1等の運賃、</u>																																									
<u>運賃の等級を設けない</u>	<u>運賃の等級を設けない</u>																																									
<u>線路で特別</u>	<u>船舶で特別</u>																																									
<u>車両料金を</u>	<u>船室料金を</u>																																									

<u>徴する客車</u>	<u>徴するもの</u>				
<u>を運行して</u>	<u>を運行して</u>				
<u>いる場合運</u>	<u>いる場合運</u>				
<u>賃のほか特</u>	<u>賃のほか特</u>				
<u>別車両料金</u>	<u>別船室料金</u>				

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。